

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点②〉

三郷学の視点

3. 今を知る (地域特性を知る)

わたしたちの日常生活は、通勤、通学に限らず市の行政区域を越えて営まれています。また、近年では、市外からも多くのかたが三郷市を訪れています。

これは、首都高速や常磐自動車道、外環自動車道など高速道路網の整備が進むとともに、武蔵野線やつくばエクスプレスが開業したことに伴い、首都圏での三郷市の魅力が飛躍的に向上したことによります。

この交通インフラの整備にあわせ、土地区画整理事業などによる基盤整備やバスネットワークが整備され



たことにより、市民生活の利便性が向上し、にぎわいの創出につながっています。

このように、交通の利便性向上が三郷の魅力アップにつながり、大型商業施設や大型物流拠点が集積し、三郷を定住の地として転居してくる人々も増加しています。その意味で、将来都市像「きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～」の実現に向け、鉄道や道路が交差するまちとしての地域特性をさらに追求することも、三郷のまちづくりを進めていくうえで大切なことです。